

# 多様な可視化技術による総合解析

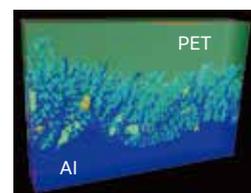
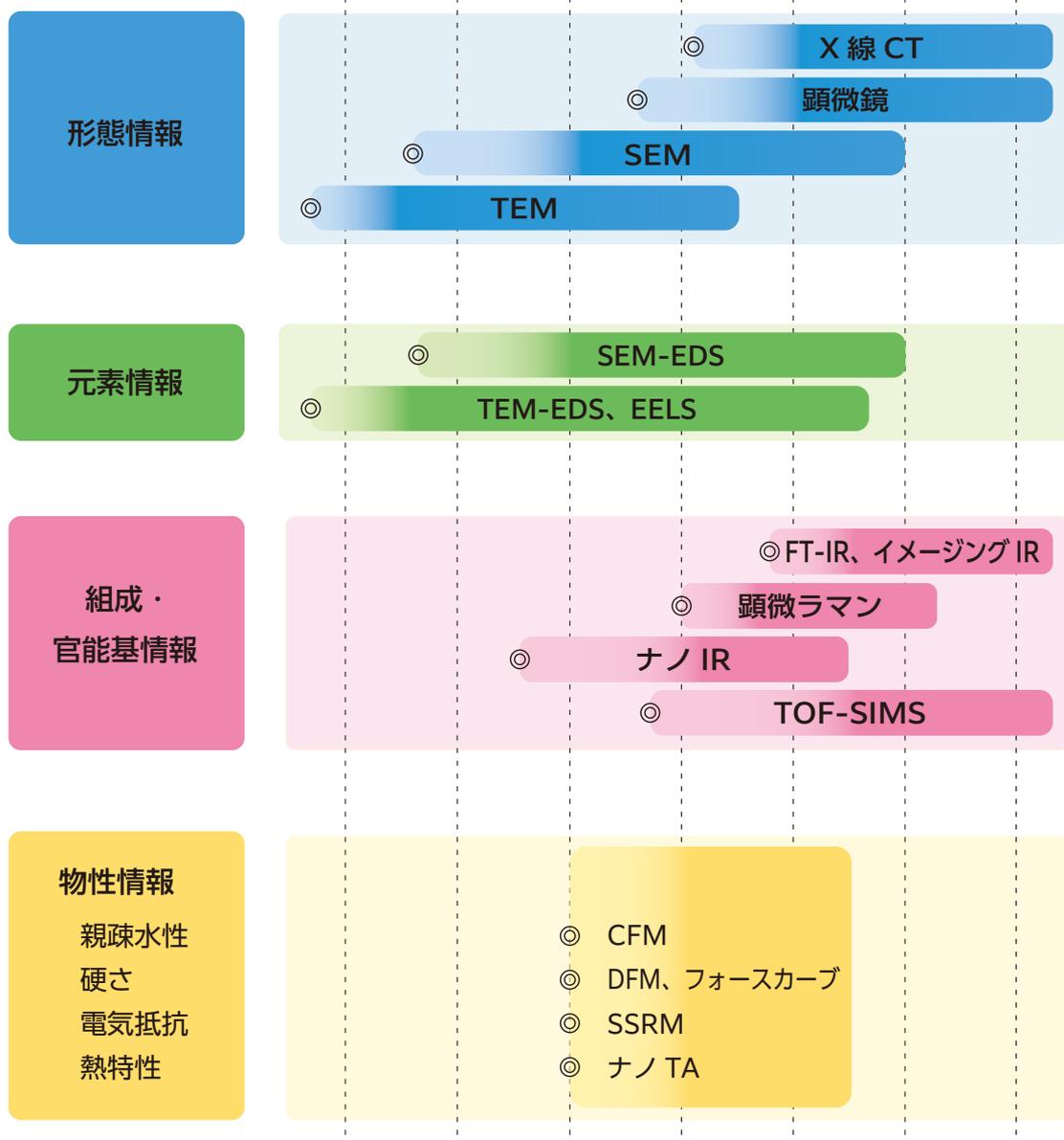
従来、内部構造を観察する手法としては、形態や元素情報であった。しかし、最近では組成・官能基、さらには物性情報での可視化も可能となった。これらの空間分解能はナノ領域にも達している。弊社は様々な分析ニーズに対し、これら最適な手法を提案し、課題を解決する。

## ▶ 各種装置で得られる可視化情報と分解能と可視化エリア

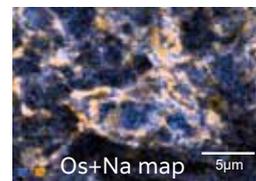
Visualized Information and Resolution by using each of Analytical Equipment

◎ 分解能 □ 可視化エリア

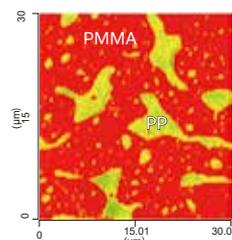
1nm 10nm 100nm 1μm 10μm 100μm 1mm×1mm



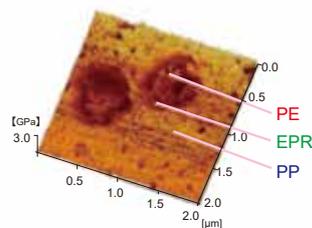
TEM 金属樹脂接合界面



EDS LiB電極バインダー分布



ナノIR PP/PMMA分布



フォースカーブ 弾性率像

